

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 明光会

1. 令和2年度事業報告総括

令和2年度事業報告総括

令和3年5月24日
理事長 寺田 千尋

令和2年度の事業計画の総括をし、到達した重要事項の成果と令和3年度に向けた課題を総括する。

今年度は、コロナに始まりコロナに終わった一年でした。入所利用者、通所利用者の皆様やご父兄の皆様には、コロナ対策にご協力いただき、ご不便をおかけしましたが、現在、爆発的な感染を防ぐことができています。職員においては、コロナ感染対策に対し緊急会議に始まり、一週間ずつBCM会議を行い、日々変わるコロナへの対策を各種専門職チームが一堂に会し方針を話し合い対応に追われた。また、持ち込まない、持ち出さないように細心の注意と、県をまたぐ移動の際には届出等を行い、エッセンシャルワーカーとしての責任ある行動をしてくれました。その対応のおかげで、ご利用者の生活を守ることができています。関係者の皆様においては、ご心配とご協力を頂き、応援していただきました。職員にとって大変心強い存在でした。

令和3年は東京オリンピック・パラリンピックの開催される年であります。明光会にとっても60周年イヤーの年と位置付け、新たなステージへ突入し、次世代に向けて準備を行っていきたいと思っています。

今年度の社会福祉法人明光会の令和2年度の重点目標は下記の通りとします。

1. 法人ガバナンスの強化について

(1)スケジュール管理アプリによる、スケジュール管理の活用はできているが、引き続き提出期限の厳守を行っていきたい。

(2)記録システムの導入を進めていく。即時、利用者の状況の把握、職員の動線の無駄を省く。

(3)iPad、PCにソフトウェアを活用し、利用者バイタル、個別のケース記録の保管、状態の把握のデジタル化。

(4)電子決裁システム導入、実施をし、更なるガバナンスの強化を図る。

(5)内部監査室を立ち上げ、統治システムの構築を行う。

達成率 (1)～(5) 100%

実施状況については達成しているが、次年度は運用に力を入れていきたい。

2. 人材の育成

(1)働き方改革の内容を遵守し、人材の定着に努める。

(2)研修内容の見直し、全員受講を徹底する。

(3)人材育成のため、資格取得の奨励をする。

・福祉・介護職員処遇等改善費の有効活用をし、奨励方法の明確化、周知を強化する。

(4)職員個人ごとの支援計画を策定し、面談等の実施を行い、具体的な育成プログラム

を実施する。

- (5) 人材育成、職場定着のためには、国家資格取得を中心としたキャリアパス計画が必要である。職員一人一人のきめの細かい研修体制と資格取得のための支援体制の構築。
- (6) 本会独自の退職金積み立ての継続。
- (7) 福利厚生面の充実
 - ・有給休暇年間20日付与の方に限り10日付与の試験的に実施（現状5日付与は実施済み）
 - ・主たる介護者、小学生までの子育て中の職員向けにフレックスタイムの実施し、さらに働きやすい職場環境にする。
- (8) 子ども参観会の実施
 - ・職員の日ごろの活躍をしていただくと共に、福祉教育の一環として行い、広い範囲での福祉人材の確保につなげていきたい。

達成率 90%

(1)～(3)は100%

ただし、研修内容については内容を吟味し令和3年度に実施したい。

(4)(5)について、定期的な面談は実施しているが、職員一人一人の育成プランについては作成までできず、令和3年度には実施していきたい。

(6)(7)については実施済み。今後も継続して行っていきたい。

(8)については、コロナウィルスの対策のため未実施。方法を検討し令和3年には何らかの形で実施していきたい。

